



令和2年度の政務活動費を減額する議案を議決！

定例会最終日（6月12日）に、令和2年度の政務活動費の交付額を40万円から20万円へ減額する議案が、3人の議員連名により提出されました。

提案理由として、地域の窮状と市の財政状況を考慮し、笠間市議会として政務活動費を減額することで、笠間市の新型コロナウイルス感染症対策費用の一部として活用させたいとの説明がありました。

これに対して2人の議員から反対討論が、1人の議員から賛成討論があり、採決の結果、賛成多数により可決され、今年度の政務活動費交付額は20万円となりました。



第2回定例会の一般質問は短縮して実施しました



今定例会では、一般質問の日程を当初の予定から短縮し、6月11日のみとしました。

当初の予定では3日間の一般質問の日程を予定していましたが、議会運営委員会において新型コロナウイルス感染症への対策を協議し、

- 現在、国・県・市の総力を挙げて、感染防止策と経済対策を講じていること
- 執行部には、市民・事業者への新型コロナウイルス対策を最優先に専念してもらうことが、今一番に求められているとの共通認識のもと、一般質問は最小限の人数にとどめるべきとの結論を得て、やむなく日程を短縮いたしました。

議会費800万円の予算返還を申し入れ 新型コロナウイルス感染症対策費用として活用を

6月15日、飯田議長と石田副議長が山口市長を訪問し、議会費の一部返還と、この財源の新型コロナウイルス感染症対策への活用を申し入れました。

返還した予算の内訳

- 政務活動費 440万円
定例会で議決した政務活動費の減額20万円×22議員分
- 委員会視察研修旅費 360万円
各委員会において、視察研修の自粛を決定し、予算全額を返還

市長からは、新型コロナウイルス感染症対策基金に積み立て、支援策の拡充を図りたい、と回答がありました。



正副議長が市長に議会費活用の申入書を提出